

公園内に民間施設(オープンカフェ)を整備・広域的な集客実現(大津市)

(1) 事業概要

・大津市の中心市街地活性化基本計画(第1次)の先導的な事業として2008年に実現した事業で、琵琶湖の景色を眺めながら飲食が可能な施設を整備。

・事業の基本的な方針として、①広域的な集客力を持つ拠点づくり、②琵琶湖を生かす新しい観光まちづくり、③なぎさ公園等周辺と一体となる活性化、④大津らしさを発揮する個性的魅力空間、⑤「環境・健康・観光」の複合効果」を掲げ、それに適合した事業内容、テナントリーシングを実施。

・株式会社まちづくり大津が事業主体となり、民間のスピード感を持って事業を推進。2008年度中に設計、テナントリーシング、工事等を完了し、2008年4月にグランドオープン。

(2) 効果・ポイント

・法定の中心市街地活性化協議会(大津商工会議所とまちづくり大津が共同設立。事務局を同社が担当)が、企画立案、事業調整、合意形成、事業推進を一括して担うことで、競争力のある事業構築を実現。

・市や関係する機関との許認可・手続き・調整等を、PPPにより複合的、一体的に実施することによって、短期間で事業計画・実施を完遂。

・これまでにない新しいコンテンツ・魅力を持つ事業者を誘致し、その連携により新しい顧客創出、にぎわいづくりを実現。



■事業の主な内容

出典:稲穂裕昭編著『自治体行政の領域:「官」と「民」の境界線を考える』(ぎょうせい、2013年)、大津市HP、なぎさのテラスHPより

項目	内容
事業名	・なぎさ公園オープンカフェ事業
発注者	・株式会社 まちづくり大津 (出資:大津市20.8%、大津商工会議所10.4%、民間等68.8%)
整備内容・規模	・大津市打出浜15番地先 なぎさ公園・打出の森内 約5,500㎡ ・建物床面積 店舗占有延床面積 約400㎡ ・構造・階数 原則として木造、1階建て(一部ロフト2階あり)
事業内容	・大津市が所有する土地(公園)内に、まちづくり大津が占有許可に基づき、店舗(建物)を建設、テナントが内装を行い、カフェ・飲食業等の収益事業を実施。 ・中心市街活性化につながる「環境」「健康」「観光」をテーマとしたテナントリーシングにより、これまでとは異なった客層の発掘
事業方式	・PPP(公有資産活用型)
関連法令	・補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法 ・公園法(第5条、第6条) ・河川法 ・まちづくり3法
事業期間	・2008年6月出展者募集 ・2008年12月工事開始、2009年3月工事完了 ・2009年4月営業開始
資金調達	・経済産業省 「戦略的中心市街地中小商業棟活性化支援事業費補助金」

■事業による効果

集客(2008)	まちづくり会社収益	創出事業規模※	※中小企業の原価指標より推計
12万人強	1,000,000円(/年)	165百万円(/年)	